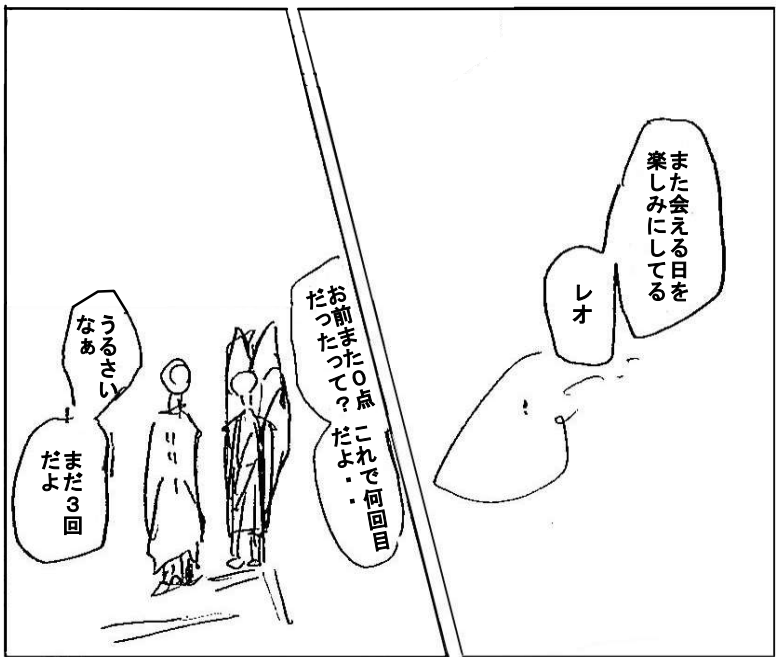
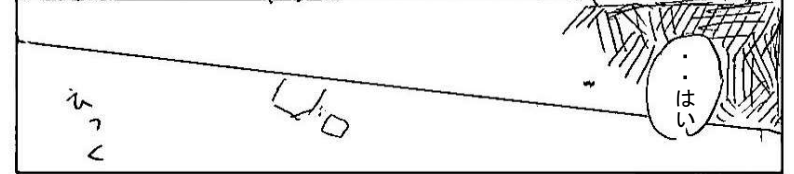
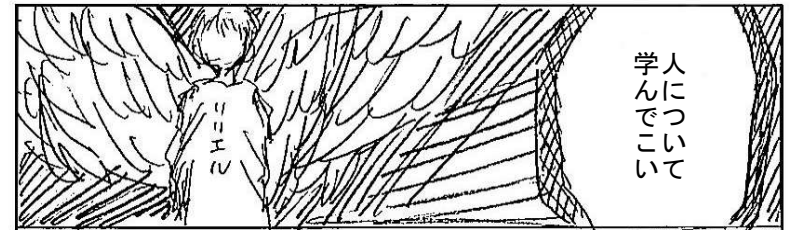


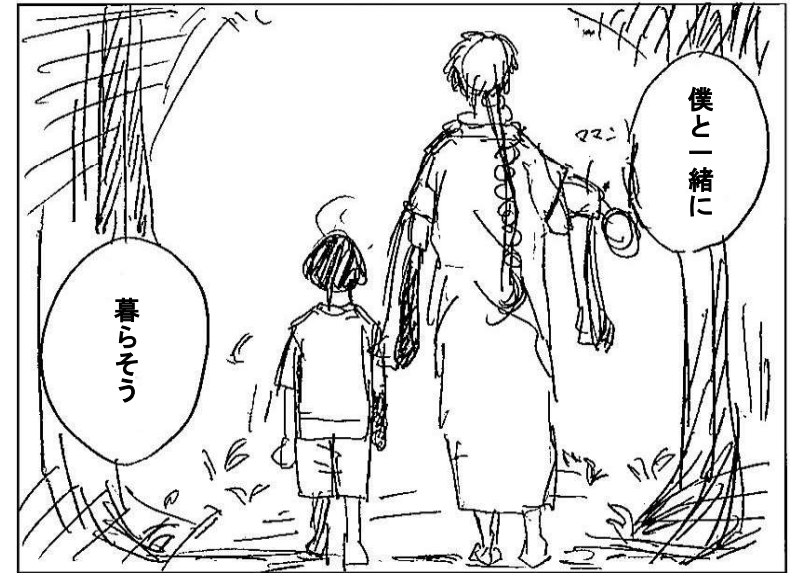
# 神の使いとギフテッド

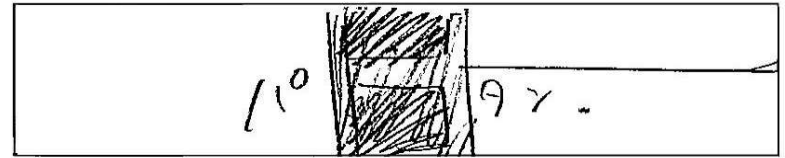


作：ウィリアム清光





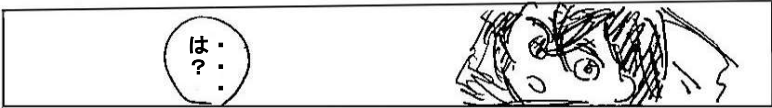








朝











君はそれを  
望まない



死神は  
お前は

あたり  
前

俺が  
仕とめる



君は仮面を  
狙っているんだろ

もっと効く弱点を  
教えてあげる



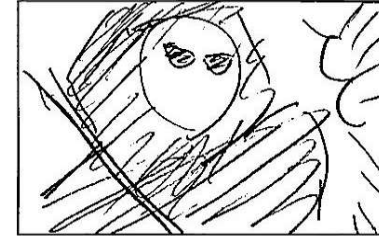
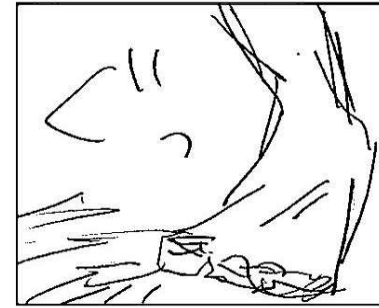
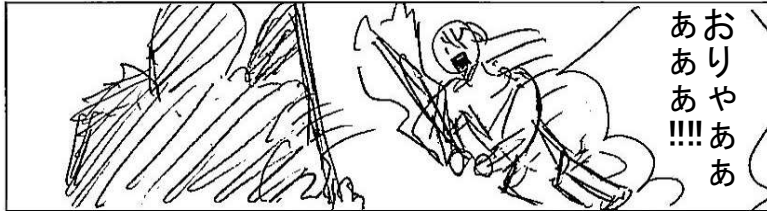
二に左手  
かまを  
持てないから  
悪さができない

一に心臓  
絶命する



僕は正直  
君のなら正体を  
暴かれても  
良いと思ってる

だが











僕は  
旅に出るよ  
リリー





## 福田素子先生の講評

プロットの時に「16ページではむずかしいと思うお話なので描けるならもう少し多く描いてもいいですよ」とお伝えした記憶。  
 最初より背景をしっかり描いていること・重要なエピソードが増えたことでページが増えたのだと思いますが、作者の方の世界観がしっかりできていたのできちんと着地できたのはすごいと思います。  
 実はまだ描き加えたいことがたくさんありそうなので機会があればこれをベースに描くのもありかもです。